



関ロータリークラブ

RI会長 / バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう "Be The Inspiration"

53代会長 / 加藤浩二

2018-19年度 関ロータリークラブ会長テーマ

行動しよう! 情熱を持って

会長 加藤 浩二

副会長 大岩寿喜子

幹事 林 昇

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

Rotary



本日のプログラム 第 2518 回例会 2018 年 10 月 2 日 (火)

「出席表彰」 「健康診断」



前例会の記録・第 2517 回 9 月 25 日(火)12:30

『新会員スピーチ』 宮本卓比郎さん

『ベトナム支援事業について』 後藤信介さん

◆開会点鐘

◆「我らの生業」斉唱

◆会長挨拶



先日の日曜日にロータリークラブが後援しています関市発明展が有り、更にその 1 週間前の日曜日には科学作品展が有りました。両方の表彰式に出席し作品も拝見しました。素晴らしい作品が沢山あり、大変感心しました。気になった作品を紹介させていただく

と、作品名『そこからトレーる』というゴミ箱で縦型のバケツタイプの底にティッシュペーパー方式の連結されたビニール袋が収納されており、ゴミ箱が一杯になったら引き上げて切り離すという物、これはやはり関市長賞を受賞されていました。他には被災地の避難所で使う『避難所でも涼しいうちわ』という作品です。扇風機の前面に水を噴霧しながら風を送る扇風機や、濡れタオルがいつまでも涼しいエコアイデア商品がよくありますが、それと同様の発想でうちわの柄の部分におもちゃの注射器が取り付けられており、注射器を押すと、うちわの扇の部分に布が貼ってありその布に水分が染みわたりそのうちわで扇ぐとひんやり涼しいという作品です。関市の小学生です。当然避難所経験のない子の作品です。本当に感心させられました。ロータリー会長賞は身体の不自由は方でも座ったままでも立っても使いやすい伸び縮みする靴ベラでした。本当にどの作品も工夫された作品ばかりで、発明は発想が良ければ良い物が浮かぶ物ではなくて日頃の毎日行っている事

や、努力している事の中から見つけ出される物だと思えます。本当によく考えられた作品ばかりでした。将来はこういった工夫が出来る子達が次世代を生き残る新たな人材像なのかなと感じました。次世代と言えば、人工知能が人類の知性を凌駕するという時代が来ています。車の自動運転、身近なところと言えば携帯ゲームの将棋やオセロでは、何度やっても AI が圧勝します。そればかりか、AI は何千人もの人と同時に対局もできます。そんな能力を持った人間は当然ないわけで、こんな時代において必要とされる人材、生き残れる人材とは、どんなタイプの人なのでしょう。1 つは AI をうまく活用し、自分を高めることができる人でしょう。将棋の藤井聡太 7 段がなぜ強いのかを考えた場合、彼が将棋のソフト、つまり AI を使って将棋を勉強した最初の世代だと思います。AI がはじき出す指し手の良し悪しを参考に技術を高めてきたからこそ、あの圧倒的な強さが身についたという面もあると思います。つまり、これからの人材は AI をうまく活用し、従来以上の能力とスピード感を持って自分を高めていくことができる人がこれからの時代に輝く人材になっていくと思います。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 宮本卓比郎

会員 50 名中 出席 22 名 出席率 44.90%

◎ニコボックス委員会 委員 後藤信介

会長・副会長・幹事の皆さん・・・尾崎さん、IGM の報告よろしくお願ひします。会員卓話にはベトナム視察報告を後藤パスト会長にお願ひしました。11 月に訪問予定のベトナム支援事業の意義を渡航前に今一度お話いただきます。

後藤信介さん・・・本日ベトナム小学校支援事業の話をお聞かせいただきます。聞きづらい点が多々あると

と思いますがロータリーの友情をもって支援をお願いします。宮本さん、新会員スピーチ楽しみにしています。

長尾、杉浦、酒井、西本、奥村、福田の皆さん・・・本日は、パスト会長の後藤さんから前年度の継続のベトナム支援事業の計画をお話していただきます。“継続は力なり”といます。良いお話を期待しています。そして、久しぶりの新入会員のスピーチ、宮本さん張り切ってどうぞ。

清水（善）、伊佐地（英）、高井、今峰、加藤（浩）、尾崎の皆さん・・・9/17（月）ホスト大澤さんにて I G M を開催していただきました。おいしい食事にお酒、楽しい時間をありがとうございました。

常川孝義さん・・・息子の結婚式に祝電をいただきありがとうございます。

大岩寿喜子さん・・・娘の披露宴に寄せて素敵なお祝電をいただきありがとうございます。本当に世界一幸せな花嫁の母になりました。（2ポイント）

伊佐治啓司さん・・・バースデーカードをありがとうございました。妻のバースデーカードもいただきありがとうございます。前回のゴルフコンペ優勝有難うございました。（3ポイント）

◆『新会員スピーチ』 宮本卓比郎さん



中日新聞の販売店をしております。宮本卓比郎と申します。どうぞよろしくお願い致します。昭和47年に関市に生まれ、育ちました。当時は祖父と父が木材業を営んでおりました。戦後の復興需要で業績を伸ばしましたが、安い外材の普及や材料としての木材の需要は年々、減っていき

ました。ちょうど私が大学卒業を迎える頃、祖父が亡くなり、父と母はコンビニサークルKを開業しました。私は開業後、半年ほど家業手伝いとしてすごした後、いずれ自分で何かをやりたいとの思いからUFS（UCC珈琲の外食事業部）へ入社しました。ブラック企業という言葉は当時ありませんでしたが、飲食業界は相当にブラックな所でありました。メルサ、ユニモール、ナゴヤドーム、錦、丸栄の直営店にて勤務。その後、店長として長野県松本、横浜、に配属。転々としながらも長男だし、いずれか地元と思っていました。そんな時に関市で中日新聞がとりあえず直営しているエリアで店主を探していることを知り、数回の面談の後、店主候補として研修へ出ることになりました。約2年の研修を終え平成18年に晴れて現在のエリアを任せられ、自営化いたしました。平成19年に結婚し7年目にしようやく息子を授かりました。父に孫を見せることはできませ

んでしたが、妻の父はちょうど定年を迎え唯一のおじいちゃんとして大変に可愛がっていただきました。それなのに自力で運転して会いに来ることも、抱っこすることも怖いと拒むようになりました。よく調べるとシャイ・ドレーガー症候群という難病であることが判明しました。この病気はホーキング博士やFC岐阜の元社長のように、筋肉が萎縮していき、いずれ動けなくなるというものでした。症例も少なくどうしてよいのかもわからない中、医療保険いわゆる健康保険で筋肉の萎縮や関節の拘縮をやわらげるためのマッサージを受けられることを知りました。ところが郡上の美並まで行かないと対応できるところが無く、こうなれば自力でという事で、あん摩、鍼灸の資格のある先生を雇用しFCに加盟したうえで訪問マッサージ業を開業する準備を始めました。しかし義父は発症から2年で亡くなり、事業としての訪問マッサージ業だけが残る形で開業しました。特に先入観もなく始めたのですが、保険適応のためにはお医者さまの同意書が必要になります。お医者さま、医師会、ご利用者、ご家族、行政、立場が変われば思惑もそれぞれ変わる事。過去には不正請求をするような業者もあつたりして、業界としてあまりいいイメージを持たない方もいるようです。ご利用者を見つけることより、同意書をもらうことが大変だとわかりました。私は新聞店の業務が忙しく、実務は看護師経験のある妻がこなしておりますが、日に日に疲れ果て、果たして続けていくべきか毎日葛藤しました。それでも絶対的に必要としてくださる方がいらっしゃるの今日までがんばれ、もうすぐ開業1年を迎えます。知人、ご家族で要支援、要介護が必要な方がおられましたら出来るかぎりの力になりたいと思います。是非、お声掛けください。

◆『ベトナム支援事業について』 後藤信介さん



皆さんこんにちは、ベトナム小学校支援について、昨年視察に行きましたので、現状の小学校について話をしたいと思います。昨年度、国際奉仕委員会の事業で、国際奉仕先として、ベトナム国内の現状視察と、ベトナム国の若い労働力の日本就業の可能性調査を目的に、

11月19日から23日までの5日間、亀井さんの奥さんも含めて10人で行って来ました。事前の計画や現地の手配、打ち合わせはすべて臼田さんをお願いし、大変有難うございました。初日は日本から8時間程かけベトナムに入りました、飛行機に慣れていない私には非常に苦痛でしたが、乗継などは亀井さんの奥さんのおかげでスムーズに進み、迷子が

発生することなく無事ベトナムに到着しました。2日目は最初の目的地である、ベトナム技術者、研修生育成学校のエスハイに視察に行きました。エスハイに到着し門をくぐると、そこには、二宮金次郎の銅像があり勤労、勤勉さを教育する事を強調している様でした。学校の目的、理念、方針を担当の方に説明を頂きました。創造を遥かに凌ぐ教育で、日越100年構想というテーマを掲げ、両国が100年の長きに渡り互いに補完し合い、それぞれの課題を解決して同時に発展する未来を目指す。テーマで、とても厳しく礼儀正しい教育が成されていました。各教室には、「姿勢7か条」と日本語で書かれた基本であり挨拶からお礼、心の持ち方などの人間関係で必要不可欠な条文が書かれていて、こちらが逆に身の引き締まる思いでした。生徒さん達は、我々の入場と共に声高らかに、はっきりと挨拶をしてくれました。通訳を通して、挨拶をさせて頂くと、その節々に「はい」、「有難う御座います」と返答が帰ってきて、打ち合わせをした訳でもなく綺麗に揃った挨拶を頂きました。日本の子供達の教育とは、雲泥の違いを感じました。逆に日本の子供達を教育してほしいと思うぐらいでした、エスハイ研修生育成学校の水準の高さを大いに感じてきました。日本から消えていく大事な教育を彼らが、引き継いでいる感じがしました。午後から2校目の研修学校を視察しました。この学校もやはり規律は大変厳しく夜は外出禁止で、施設内で合宿生活を送る事で礼儀や協調性を学んでおりました。年々ベトナム人労働者が増えて来ている現状で、これらの学校への需要が急速に高まって来ている事を痛感しましたし、ベトナム人技術者の水準の高さに驚かされました。3日目は白田さんがベトナム政府に掛け合って選んでくれた支援目的の数ある小学校のうちの2校に絞り視察に行っていました。1校目はウイン ヒイ タム小学校という学校で生徒数241名の学校に視察に向かいました。バスで2時間、都心から離れ道路状況も良くない道をひたすら走り、到着すると学校には既に、子供達が校門から教室へと、2列に並び、炎天下の中、私達を拍手で出迎えてくれました。この学校では、1年生から5年生まで8クラスあり、その中で選ばれた代表クラスに入り校長先生から学校の現状を説明して頂き、こちら挨拶をさせて頂きましたが、まだまだロータリーなんて何者か全く解らない、あどけない顔で大人しく聞いてくれました。外には裸足で遊ぶ子供達や、兄妹の迎えに来てグラウンドの遊具で待つお兄ちゃんの姿もありました。その後、校長先生の案内で学校内の見学を行い、職員室で短時間でしたが詳しく子供たちの現状や教育上の問題点など話を聞き、来年のロータリーの支援活動の為の参考にさせて頂く為の貴重な時間でした。

統一された制服を子供たちは着ていましたが、最低限、制服は生活が苦しくとも親がその子のために生活費を削り着せている現状や、家族が離婚し、さらに家が遠くて学校に通えない子供や制服までは買ってもらえない子供、授業料を払えない貧しい家庭の子供がこの学校に52人いる現状を聞かされ、この子供たちに何をしてあげられるか不安になる一方でした。午前中にもう一校、視察をしましたが、2校目も更に環境が悪く、学校は、あるものの満足なグラウンドが無く、さらには周りが湿地帯で川や池に囲まれており、そこにはフェンスも無く、関 RC から手土産でサッカーボールを持って行きましたが思う存分そのサッカーボールを蹴り遊べない現状があまりにありました。しかし、そのこの学校の子供達もそんな環境に負けずつぶらな瞳で微笑んでくれました。皆さんには、この写真と説明だけでは我々が味わった印象は伝わりにくいかもしれませんが、この子供達の教育環境をほんの僅かでも、支援してあげたいと思います。両校の校長先生は今この子供達の教育に一番必要なものはパソコンだと言っていました。将来この子供達がまともな社会人になる事や、前日に見学した派遣施設から日本に出稼ぎに行くにも、パソコン教育は最優先に与えたい教育だと大変強く聞かされました。この支援活動を本年度なんとかして目標金額120万円達成して11月21日にはベトナムにパソコンを寄付したいとおもいます。何卒、皆さんの子を思う親として、また志を同じくするロータリアンの仲間として知恵を頂きながらの支援を心から期待し、ご協力を願いたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

◆IGMの報告 報告者：尾崎嘉彦

日時：9月17日（月）18：30

場所：和ちょっと洋ダイニング楽

ホスト：大澤竜一 リーダー：清水善光

R情報：高井昭裕 義務出席者：伊佐地英俊

特別出席者：今峰徹・加藤浩二・尾崎嘉彦

◆幹事報告

◎例会終了後『理事、役員会』開催

◎10月の例会予定表配布

次例会のご案内 10月16日（火）12：30

「地区大会の報告」 担当：会長、幹事

例会：毎週火曜日12：30

例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F

事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F